

令和6年度 第3回 区政策会議

令和7年3月19日
西区役所 政策推進室

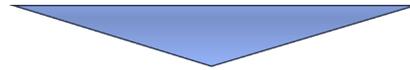
目次

- 1 会議の趣旨 ……p 1
- 2 区民アンケートの回答状況（報告） ……p 2
- 3 計画策定の目的・方向性・位置づけ ……p 3～5
- 4 (仮称)堺市西区基本計画のイメージ ……p 6
- 5 西区を支える4本の柱 ……p 7～10
- 6 計画策定スケジュール ……p11

令和6年度 第1回会議（6月24日）

【（仮称）堺市西区基本計画の策定に向けて】

令和5年度の会議で意見をいただいた「ICTの進歩と社会生活への影響について」をふまえ、今後の西区の方向性を示す「（仮称）堺市西区基本計画の策定に向けて」について意見交換の開始



令和6年度 第2回会議（12月23日）

【（仮称）堺市西区基本計画の策定に向けて】

計画策定の背景、西区の特色、現状・計画案のイメージなどを共有した上で、計画策定の基礎資料とするために実施する「西区 区民アンケート」案について意見交換



令和6年度 第3回会議（令和7年3月19日）

【（仮称）堺市西区基本計画の策定に向けて】

- ・ 区民アンケートの回収状況の報告
- ・ 計画策定の目的・方向性・位置づけの確認
- ・ 西区の取組についての意見交換

2 区民アンケートの回答状況（報告）

1 調査内容

まちの魅力、健康、子育て、安全・安心、市民活動、自治会活動、西区の情報発信に関することなど

2 実施期間

令和7年1月17日（金）～2月21日（金）

3 回答数

1,312人



配布方法	配布数（人）	回答数（人）
ウェブ（堺市電子申請システム）	—	258*
郵送	2,000	860
市施設 政策推進室 市政情報コーナー 西図書館 西老人福祉センター 西文化会館 家原大池体育館	500	194
計	2,500	1,312

*郵送配布された方のうち、ウェブでの回答を含む

3 計画策定の目的・方向性・位置づけ

1 区の計画策定の目的

市は、人口減少・超高齢社会による生産人口の減少、社会保障費やインフラ・公共施設等の維持管理・更新費の増大、デジタル化の進展、生活環境・生活スタイルの多様化に対応した持続可能な都市経営を推進していく必要がある。

持続的に発展するまち = 「住みたい、住み続けたい」まち

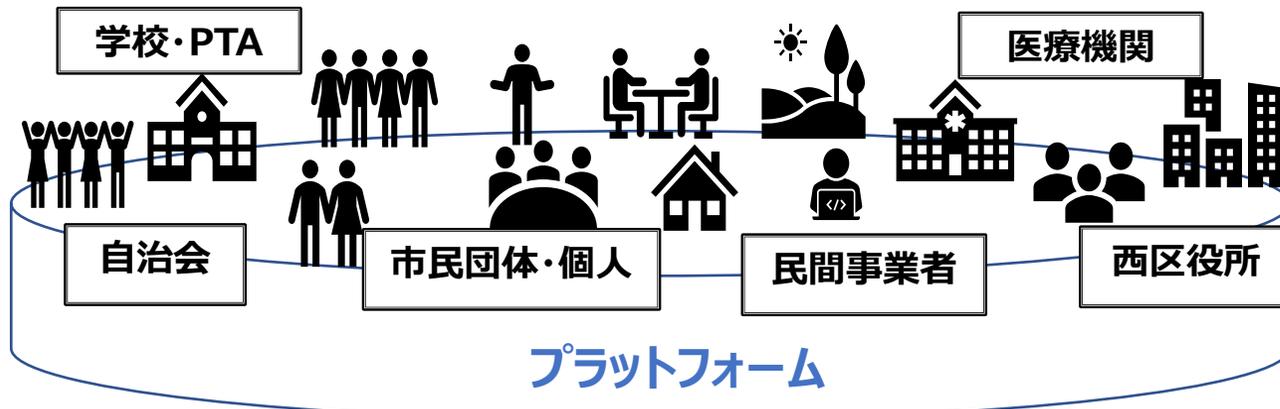
「住みたい、住み続けたい」まちを実現するために区が取り組むべきこと

- ・健康寿命の延伸
- ・子育て環境の充実
- ・安全・安心な住環境の形成など暮らしの質の向上
- ・各地域の魅力創出、地域経済の活性化
- ・事業の見直しやデジタル化の推進
- ・区役所機能の強化等の行政改革

2 区の計画策定の方向性

(1) 地域との連携・協働による課題解決

現在の社会情勢において、人口減少と高齢化により生産年齢人口の減少が進み、経済活動、地域活動等のくらしを支える担い手の確保が課題となる。地方自治体においても、職員の減少が見込まれ、多様化する地域課題に行政単独で対応することが困難な時代となり、スマート自治体への転換が求められる。そのため、自治体はサービスプロバイダー（住民サービスの提供者）から**プラットフォーム・ビルダー（官民の新しい協力関係を構築する土台や場をつくる者）**へ転換し、地域で活動する方（自治会、市民団体・民間事業者など）とさらに連携を強化することで、地域資源どうしがつながり協力し合う基盤の整備が求められている。（総務省 自治体戦略2040構想研究会第二次報告(平成30年7月)）



住民に最も近い行政機関である区役所がプラットフォーム・ビルダーの役割を担い、地域での活動主体が連携・協働することで活動がより柔軟かつ効果的に機能するしくみへ転換

3 計画策定の目的・方向性・位置づけ

2 区の計画策定の方向性

(2) デジタル社会との調和



市民のライフスタイル、ワークスタイルが変容し、ICT（情報通信技術）の急速な進展に代表されるスマートフォン、ソーシャルメディアなどの普及、またAI（人工知能）技術の進化に伴う区民生活の利便性の向上や産業面における効率化、生産性の向上をもたらしている。近年、地方自治体においても、ICTを積極的に活用した**住民サービスの利便性向上**や**業務の効率化・効果性向上の推進**が求められる。

- ◆ 市（区役所を除く）の取組例
LINEを活用した市民からの通報（道路・公園の損傷等）受付【参考資料3】 「my door OSAKA」（マイド・ア・おおさか）【参考資料4】 堺市みまもりあい事業
- ◆ 区役所窓口に関する取組例（全区共通事項）
手続き判定ナビ【参考資料5】 オンラインによる法律相談【参考資料6】 証明書のコンビニ交付、認定こども園等の入所申込などのオンライン化
- ◆ デジタル・ディバイド対応（全区共通事項）
デジタルの利用が困難な方に対するデジタル・ディバイド（インターネットやパソコン等の情報通信技術を利用できる者と利用できない者との間に生じる格差）対応
【取組例】 スマホ教室

デジタル技術とアナログ対応の共存

デジタル技術によるコミュニケーションの効率化・効果性の向上

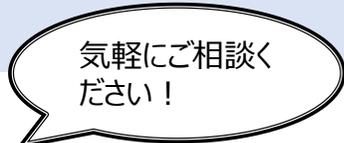
- ◆ 業務の効率化、効果性向上の推進
・AIの活用、Web会議の開催、Web相談、オンライン診療など
- ◆ 市民活動、自治会活動におけるICTの活用
・LINEなどのアプリを活用した市民活動等の連絡・情報共有
・活動の見える化による参画促進、会員増

窓口や訪問等のアナログ対応

- ◇ アナログ対応の継続
・対面による面談等で寄り沿った対応が必要な事業もある
・インターネット等を利用しない区民への配慮も必要である
→引き続き、窓口等の対面による対応など、アナログ的な対応も必要



デジタルがアナログと調和しながら、住民生活に浸透



3 計画策定の目的・方向性・位置づけ

3 区の計画策定の位置づけ



市が実施する事業

観光振興 文化・芸術・スポーツ振興 国際化 健康長寿 福祉向上 子育て支援・教育環境整備 雇用・人材活躍 防犯・防災対策
都市インフラ整備 産業振興 環境保全 など

「堺市基本計画」を補完し、市の計画・ビジョンとの整合性を図る

全区統一の事業
(例)
戸籍 住民登録 保育所等の入所
介護保険認定 生活保護の相談など

(仮称)西区基本計画

区独自の事業
(西区の例)
妊娠期から産後のママ支援事業
西区歴史ウォーク デiskon大会

市の方針をふまえ 区民に最も近い行政機関として 西区の地域特性に応じた取組を実施

持続的に発展するまち＝「住みたい、住み続けたい」まちに不可欠な 4つの要素【4本の柱】

健康習慣の定着

子育て環境の充実

安全・安心の確保

地域魅力の共有

持続的に発展するまち＝「住みたい、住み続けたい」まちに不可欠な4つの要素【4本の柱】

健康習慣の定着

生涯にわたり心身ともに健康に暮らせる

子育て環境の充実

地域でつながり安心して、子どもを産み育てられる

安全・安心の確保

事故や犯罪の被害がなく、自然災害に対する自助・共助・公助が機能し、安全に安心して暮らせる

地域魅力の共有

西区の歴史・文化資源等の魅力を共有し、自らの住む地域に愛着と誇りをもてる

西区

西区



5 西区を支える4本の柱

健康習慣の定着

現状

- 西区では高血圧の方の割合が他区と比較してやや高い
- 生活習慣病（脂質異常症、糖尿病、慢性腎臓病等）のリスクが高まっている
- 認知機能や運動機能の低下、口腔機能の衰えなどが懸念される
- 乳幼児期からの歯科疾患の予防が全身の健康につながる
- 地域でのスポーツ活動が自主的に行われている

どうすればいいか？

生涯にわたり健康を意識してもらうには？ 健康行動を促すには？

- (現在の取組例)
- 地域や保健センターでの健康教育（教室・講座）、健康相談、普及啓発、食育を実施
 - 乳幼児健診、骨粗しょう症予防検診を実施
 - 自主グループの活動支援、ボランティアを育成
 - ディスカン大会、ウォーキング大会を地域と連携して開催

理想

**生涯にわたり
心身ともに
健康に暮らせる**

【西区 区民アンケート（参考資料2）の項目】（要約）

問8) 健康維持のため、普段心がけていることはありますか

問9) 健康診断を年に1回受けていますか

問10) 自身の最近の血圧と、血圧の正常値を知っていますか

問11・12) フレイル予防のために行っていることはありますか

■ 子育て環境の充実

現状

- ・ 共働き家庭の増加や働き方が多様化する中、核家族やひとり親家庭で子育てに関する不安や悩みを抱えてしまいがちになる。
- ・ 地域の子育てひろばなどで交流することが子育ての不安解消につながっている。
- ・ こどもを取り巻く環境が多様化、複雑化し、家庭や学校だけで解決できない課題がある。

どうすればいいか？

**子育てしづらいと感じる理由は？
孤立しないようにするには？
子育ての不安を解消するには？**

(現在の取組例)

- ・ 子育て相談を実施
- ・ 妊娠期から産後のママ支援などの子育て支援イベントを開催
- ・ ほほえみルームなどの交流の場を提供

理想

**地域でつながり
こどもを安心して
生み育てられる**

【西区 区民アンケート（参考資料2）の項目】（要約）

問13) 西区は子育てがしやすいまちだと思いますか 問16) 西区役所の子育て等の相談窓口を利用したいですか

問14・15) 西区は子育てがしやすいと思う理由／思わない理由はどのようなものですか

5 西区を支える4本の柱

■ 安全・安心の確保

現状

- ・ 南海トラフ地震や上町断層帯地震の発生リスクが高まっている。
- ・ 特殊詐欺の被害が増加している。
- ・ 自転車事故が増加している
- ・ 防災、防犯等の地域活動の担い手が高齢化している
- ・ 大阪府の自転車ヘルメット着用率が全国で最下位である

どうすればいいか？

防災や防犯の意識を高めるには？ 防災や防犯活動を広めるには？

(現在の取組例)

- ・ 西区自主防災活動支援事業
- ・ 防災マップの配架や広報による啓発
- ・ 防犯灯や防犯カメラの設置、防犯キャンペーンを実施
- ・ 大阪府警察と連携した交通事故対策の普及啓発
- ・ 自治会加入を促進

理想

**事故や犯罪の被害がなく
自然災害に対する
自助・共助・公助が機能し
安全に安心して暮らせる**

【西区 区民アンケート（参考資料2）の項目】（要約）

問17) お住まいの地域で発生が想定される災害を把握していますか

問18) 災害に対しどのような備えをしていますか。

問19) お住まいの地域は事故や犯罪への不安がありますか

問20) 事故や犯罪被害を減らすにはどんなことが有効と考えますか。

問21) 市民活動に参加していますか

問23) 自治会に加入していますか

■ 地域魅力の共有

現状

- ・ 浜寺公園駅舎、諏訪ノ森駅西駅舎といった歴史的建造物、大鳥大社や日部神社・家原寺などの神社仏閣、家原大池体育館などのスポーツ施設、浜寺公園といった地域資源がある
- ・ SNSや広報紙を活用し、行政情報や西区の歴史・文化資源等を発信している。
- ・ 民間事業者や区民主体のイベントはあるものの、情報が少ない。
- ・ 様々な主体との連携が進んでいない。

どうすればいいか？

**区民が西区の歴史文化資源などの魅力を知り、共有してもらうには？
区民以外に魅力を感じてもらうには？**

(現在の取組例)

- ・ 西区ふれあいまつりや西区まち歩き、西区写真展など、地域と密着したイベントを開催
- ・ 注染製品の展示・販売会、だんじりパレードなど、地域の伝統・歴史的資源を活用したイベントを開催
- ・ 区広報紙、SNSによる魅力発信

理想

**西区の歴史・文化資源などの魅力を共有し
自らの住む地域に
愛着と誇りをもてる**

【西区 区民アンケート（参考資料2）の項目】（要約）

問5) 今後も西区に住み続けたいと思いますか 問6・7) 西区に住み続けたい理由／住み続けたくない理由はどのようなものですか

問26) 西区の行政情報を何で得ていますか 問27) 西区公式SNSをフォローしていますか

6 計画策定スケジュール

